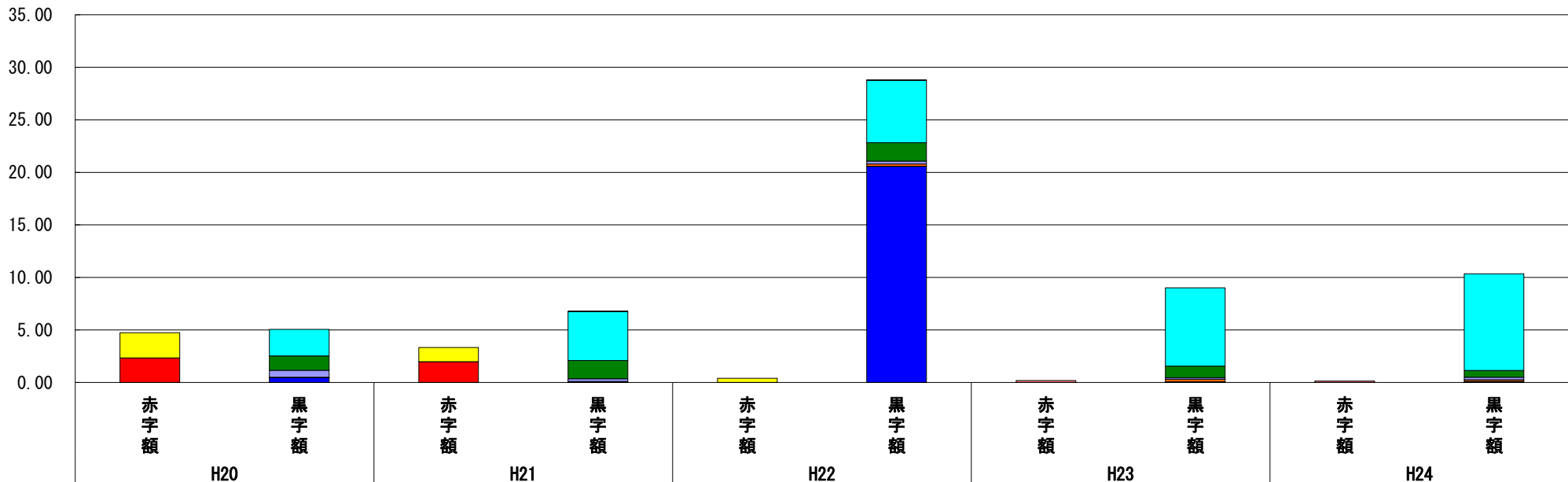


(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成24年度

北海道白老町

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度				
	H20	H21	H22	H23	H24
介護老人保健施設会計	-	0.06	0.04	▲ 0.18	▲ 0.14
水道事業会計	2.52	4.65	5.95	7.45	9.20
一般会計	1.37	1.74	1.75	1.10	0.66
介護保険事業会計	0.66	0.26	0.27	0.15	0.24
公共下水道事業会計	0.00	0.00	0.22	0.24	0.15
国民健康保険事業会計	▲ 2.41	▲ 1.35	▲ 0.40	0.05	0.07
後期高齢者医療事業会計	0.01	0.00	0.01	0.00	0.02
墓園造成事業会計	0.04	0.01	0.00	0.00	0.01
その他会計（赤字）	▲ 2.33	▲ 1.98	-	-	-
その他会計（黒字）	0.45	0.08	20.57	0.02	0.00

分析欄

連結実質赤字比率については、平成19年度以降、各会計への計画的な繰出金により確実に減少し、平成23年度、平成24年度においては、介護老人保健施設会計のみが赤字決算となっている。

また、平成22年度は、平成19年度時点で最大の赤字であった工業団地造成事業会計を閉鎖したことにより、販売用土地の価格分が剰余金に計上されることで、一時的に大幅な黒字へと転化したものであるが、平成23年度、平成24年度については、各会計とも一定の収支バランスを保っている状況にある。

今後とも、各会計間の収支バランスに配慮し、計画的な繰出し等を実施することにより、赤字会計の発生がないように努めるとともに、各会計の経営状況の改善に努めることで、繰出金の減額を図り、安定した行財政運営の実現に努めたい。

※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。